

大田の魅力 再発見 馬込ウォーク Magome



新馬込橋

2014年6月の全面修復に合わせ、大田区ゆかりの版画家・川瀬巴水(はすい)の「馬込の月」をはじめ12作品の複製美術陶板が飾られた。

再発見memo

郷土博物館

大田区を中心とした考古・歴史・民俗資料等の文化遺産を保管・展示している。
9時～17時／月曜・年末年始休館／無料

オススメ散策道

- 北コース 2.4km 60分
 - 南コース 3.1km 90分
 - 白秋の小径
- 文士の解説板 ■ バス停
● 史跡・旧跡 ■ 公共施設 ● 桜



一般社団法人
大田観光協会
(2024年3月)

再発見memo

白秋の小径

昭和初期、馬込に住んだ北原白秋が自著「きょうろ鶯」に記した自宅近辺の景観を参考にした坂の多い行程3キロ散策ルート。

再発見memo

山王草堂記念館

日本初の総合雑誌、「国民の友」を創刊し明治・大正・昭和にわたってオピニオンリーダーとして活躍した徳富蘇峰の旧居を一部保存し蔵書、書簡を展示。玄関脇には、新島襄がアメリカから種子を持ち帰ったカトルバが毎年5月末頃に咲く。
9時～16時30分／年末年始休館／無料

再発見memo

尾崎士郎記念館

馬込文士村の中心人物として活躍した尾崎士郎が10年間暮らした旧居の客間、書斎、書庫、庭園を改修、復元し2008年に開館。
9時～16時30分／年末年始休館／無料

再発見memo

熊谷恒子記念館

現代女流かな書の第一人者として活躍した熊谷恒子の旧居を改修し、所蔵作品を順次公開している。
9時～16時30分／月曜・年末年始休館／100円

再発見memo

龍子記念館

川端龍子が生前設計した記念館を区が譲り受け彼の作品を展示。向かいの旧居、アトリエも公開している。
9時～16時30分／月曜・年末年始休館／200円

馬込文士村

大正末期から昭和初期に馬込から山王にかけての一带に、多くの文士、芸術家が住んだことから「馬込文士村」と呼ばれるようになった。「赤毛のアン」の翻訳者・村岡花子もこのまちに住んだ。
郷土博物館のほか、山王会館、馬込図書館に資料がある。また大森駅向かい天祖神社階段には、当時の様子を描いたレリーフが飾られている。